

平成28年度 事務事業評価シート

事務事業名		ごみ収集管理				所管	環境清掃部 清掃リサイクル課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	113	計画事業名	戸別収集の展開		事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] II-2. うるおいのある生活環境づくり					[事業開始] 平成12年度		
		[小 柱] (2)循環型社会づくり					[終了予定] - 年度		
		[施策] ①ごみ減量の推進							
	根拠法令等	法令(義務)		[法令等名]	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、東京都台東区廃棄物の処理及び再利用に関する条例				
	事業対象	一般区民・区のごみ収集を利用する事業者							
	事業目的	一般廃棄物の収集・運搬業務を行うことにより、生活環境を清潔にする。また、廃棄物の適正な排出を促すことにより、廃棄物の減量と資源化の促進を図る。							
	事業内容	家庭及び事業所から排出される一般廃棄物の収集・運搬業務を行う。また、適正な分別排出の指導を行う。							
委託の有無	一部委託		委託内容	・廃棄物埋立処分業務委託 ・粗大ごみ収集運搬業務委託 ・集積所管理システム保守委託					
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種別	指標の名称		(単位)	目標値 (29年度)	25年度	26年度	27年度	
	活動指標	区収集ごみ量実績		t	41,783	45,939	44,857	44,247	
		指導件数		件	-	6,178	4,640	5,117	
	成果指標	区民一人一日当たりのごみ量		g	588	677	653	637	
		決算額 (単位:千円)				743,490	773,666	749,451	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				7,669	21,199	17,264	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				743,491	760,612	739,005	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				0	358	0	
		総経費				751,160	782,169	756,269	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				306,382	304,031	290,555	
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				57	1,466	1,235			
一般財源(区負担額)				444,721	476,672	464,479			
前回評価から改善した事項	戸別収集が区内全域へ拡大したことで、ごみを出した人や事業者へ直接指導できるようになり、収集と排出指導が一体となった作業を行っている。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	4	区民の生活環境の保全を図る上で、必要不可欠な事業である。適正な分別の促進や資源化の向上を図り、ごみを減量するためには、収集するだけでなく、きめ細やかな排出指導が必要である。						
	効率性	4	戸別収集が区内全域に拡大したことにより、実施前と比較して、ごみの減量、収集車両及び人員の減となっている。これにより、収集に係る経費や、各区のごみ量等に応じて清掃一部事務組合へ支払う分担金の割合も減少している。						
	手段の適切性	4	収集と排出指導が一体となった作業を行っている。また、申込制を取り、指導の必要性が低い粗大ごみの収集運搬については、民間事業者に委託している。						
目的達成度	3	戸別収集の特性を活かしたきめ細やかな指導により、区民の分別意識が向上するなど、一人一日当たりのごみ量が前年度実績よりも減量することができた。また、人口が増加する中で、区収集ごみ量についても、減量が図れている。							
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	改善	
平成27年度末で区内全域が戸別収集となり、排出者へ直接、排出指導を行えるようになったことで、適正な分別やごみ減量につながっている。今後は、家庭から排出されるごみと事業系のごみの区別がつくようになったことから、それぞれに合ったきめ細やかな排出指導を行っていく。							拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		